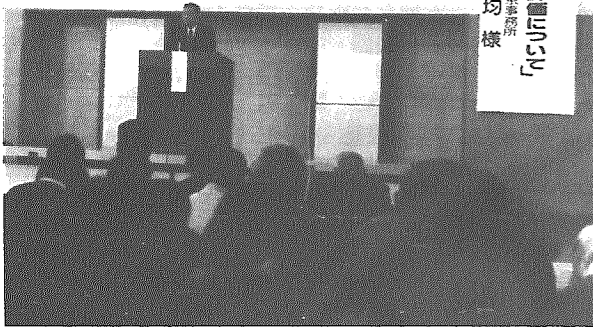


亀田郷産米の品質向上を目指して  
米の高品質・良食味推進大会に農家集結

3月3日、JA亀田郷産米の品質向上を目指して、米の高品質・良食味推進大会がサンウイング横越で開催され、約200名が参加しました。

昨年産米の品種別等級結果や品質低下の理由が説明され、田植えの時期や苗の本数、水管理といった品質向上のための栽培方法が紹介されました。また、JA全農新潟東京事務所の吉見所長による「米の流通情勢と新潟米の評価について」と題した講演で、米消費の変化や他県産との品質格差の縮小、消費者ニーズ等について述べられ、参加者たちは真剣に耳を傾けていました。



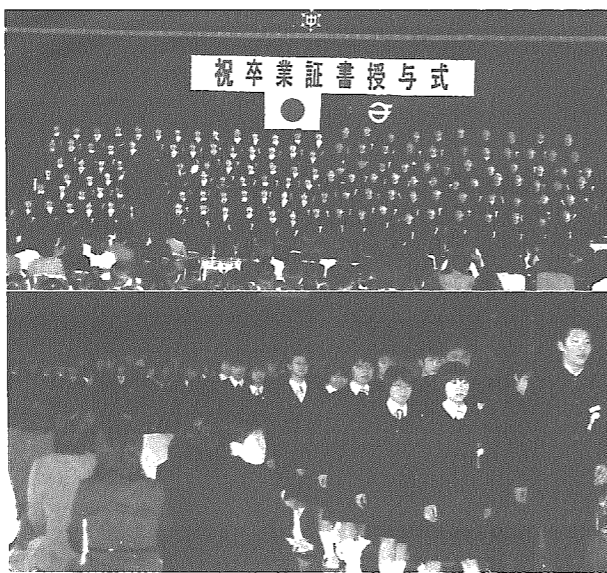
9年間の義務教育を終え中学校で卒業式  
夢に向かって154名が巣立つ

3月12日、横越中学校で卒業証書授与式が行われました。今年の卒業生は、男子72名、女子82名の計154名。

樋熊校長先生から卒業生ひとりひとりに卒業証書が手渡された後、校長先生は「卒業おめでとう。『ありがとう』という感謝の気持ちを忘れず、夢を持ち、情熱を燃やし、精一杯努力して下さい」とはなむけの言葉を送りました。

在校生代表の井口紗衣果さんは「先輩たちの姿を見て私たちは成長しました。夢に向かって羽ばたいて下さい」とエールを送り、卒業生を代表して小田ちひろさんは「みんなの協力と団結ですばらしい3年間、たくさんのことを学ぶことができました。あきらめず夢に向かってがんばります」と力強く将来への希望を語りました。

最後に卒業生全員がステージに立ち、感謝の気持ちと思い出を込めて「ハレルヤ」を大合唱し、卒業生たちの力強い歌声が会場いっぱいに響き渡りました。



新たに135名が大人の仲間入り  
期待と責任を胸に成人式開催

3月21日、サンウイング横越を会場に成人式が開催され、今年の対象者135名のうち、色とりどりの着物やスーツで着飾った新成人90名が出席しました。

式では、町長から「成人を迎え皆さんには権利と義務が生じました。さらに自分を高め、次の時代に挑戦して下さい」、中学校時代の永倉浩二先生から「皆さんの立派な姿に頼もしく感じました」と期待を寄せるあいさつがあったほか、来賓の方々から祝いの言葉が贈られました。成人者を代表して横山優子さんは「これから社会人としてがんばります」、皆川友和さんとその友人たちは声を合わせて「苦しいことに負けずみんなと仲良く輝いていきます」と今後の抱負を披露。式の前では、懐かしい先生や友だちと再会を喜んだり、お互いのことを語り合ったり、笑顔で一緒に写真を撮る姿があちこちで見られました。



春の全国交通安全運動  
4月6日(土)～15日(月)

4月6日から15日まで、「春風に 願いをのせて 交通安全」をスローガンに、春の全国交通安全運動が実施されます。

- ① 子どもと高齢者の交通事故防止
- ② 飲酒運転等悪質・危険な運転の追放
- ③ シートベルトの着用及びチャイルドシート正しい使用の徹底

子どもの急な飛び出しに注意

新人園・新入学シーズンの4月は、新たに通園・通学を始める子どもたちが多くなり、交通事故も発生しやすくなります。子どもは判断力が未熟なため、無理に道路を横断しようとしたり、興味を引くものに夢中になり、突然路上に飛び出したりします。学校や保育園付近、通学路、子どもの近くを通るときには、徐行や一時停止を心がけ、注意して運転して下さい。

交通事故死者数の約4割が高齢者

平成13年の交通事故死者数に

占める高齢者の割合は、36.8%と、過去最高を記録しています。歩行中の高齢者が被害に遭うケースのほか、高齢者の運転中の事故が増えています。高齢になると、加齢に伴う身体機能の変化により、歩行が遅くなったり、危険の発見やそれを回避するためのとっさの判断・行動が遅れたりします。高齢者のドライバーは、自分の視力や集中力、判断力などの変化をきちんと把握し、それを踏まえた運転を心がけましょう。

夜間の死亡事故の4件に1件は飲酒運転

お酒を飲むと中枢神経がまひし、判断力や反応が鈍くなるため、スピードの出しすぎや無謀な運転、運転中の不注意などにもつながりやすく、交通事故の大きな原因となっています。死亡事故につながる危険も大きく、夜間の死亡事故の4件に1件が、飲酒に起因するものとなっています。飲酒運転は、自分だけでなく他の人の命をも危険にさらす行為なのです。少量でもお酒を飲んだら、絶対に運転しないで下さい。

耳よりな情報

～広域情報ネットワーク～

- <新潟市>  
新潟市水族館 マリンピア日本海  
◎春期特別展「新潟県の希少水生動物」  
・期間 3月21日(木)～6月2日(日)  
・会場 本館地階「マリンピアホール」  
・内容 新潟県在来の野生生物で、絶滅の恐れのある種のうち、水生動物にスポットを当て、「なぜ絶滅に向かっているのか」を実際の生物やパネルなどで紹介します。
- ◎仮称 日韓水族館交流展  
・期間 4月上旬～6月  
・内容 ワールドカップサッカーの日韓共催を記念して、韓国ソウル市にあるコエックス・アクアリウムとマリンピア日本海をはじめ日本の開催地にある5園館が、地元になじみの深い水生生物を交換・展示したり、観光や文化の交流を行います。詳しい内容は、お問い合わせ下さい。
- ◎ドルフィンウィーク  
・期間 5月18日(土)～5月26日(日)  
・内容 マリンピア日本海に初めてイルカが来た日を記念して実施します。イルカについてもっと知ってもらうために、1日トレーナー体験やイルカに関する展示などを行います。
- ▶利用時間 午前9時～午後5時(受付は閉館30分前まで)  
7月25日～8月31日は午後6時まで
- ▶休日 年末年始・3月の第1木曜日とその翌日
- ▶料金 大人：1,500円 小中学生：600円 幼児(4歳以上の未就学児)：200円 30名以上の団体割引制度あり
- ▶場所・問い合わせ マリンピア日本海 新潟市西船見町5932-445 (護国神社近く) ☎222-7500 FAX 223-2824

短歌

(公募作品)

暗闇の道の光を照らしつつイエスの教えを導く  
霧引つき横雲橋の乗り越し阿賀とうとうと元旦の朝  
くさむらを分けて楽しむ此の歌に何時まで続く吾れ老の身は  
登りても登りきれずに蜘蛛の子が大の字になり再び挑む  
枯れ枝に積りし雪がバツサリと落ちたる後の夜は静かなり  
春浅く風の冷たき庭隅に小さき水仙開きて居たり  
初春を祝うが事き豪快に白鳥一群頭上高く飛び行く  
年越しの夜勤を終へて帰る孫待ちつ雑煮の準備を急ぐ  
冠雪の連なる妙高雄大に近づく赤倉有縁講に馳たり

小	木	沢	沢	沢	沢	上	新潟市
杉	津	海	海	海	海	町	村山
中川	坪谷	清田	清水	渋谷	田辺	伊藤	中村
マツノ	雅博	ミイ	雅美	ウタ	タケノ	吉作	村山
							朱美

4月22日・23日は、役場で「特定計量器測定検査」が行われますので、忘れずに受検しましょう。

木津公民館では小阿賀野川沿いの夜桜のライトアップを4月5日から開花中に行います。お越し下さい。